

図8 浮遊真菌濃度測定結果

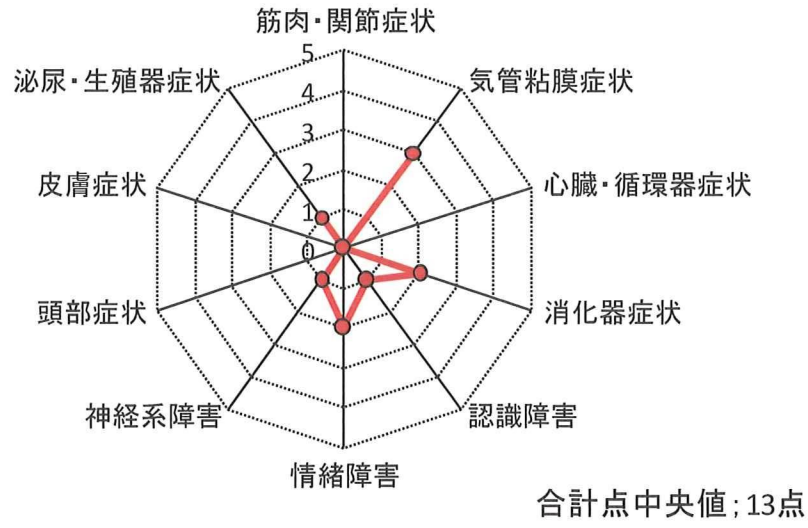


図9 QEEESI 問診票; 各項目の中央値 (42名)

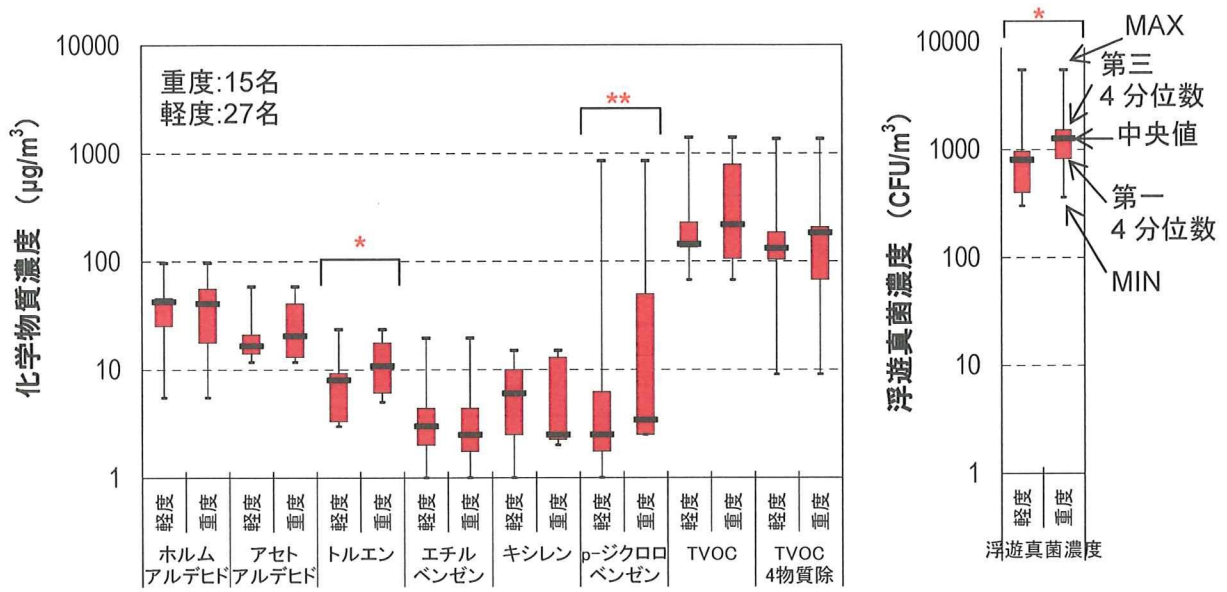


図10 気管粘膜症状程度による化学物質濃度、浮遊真菌濃度の比較

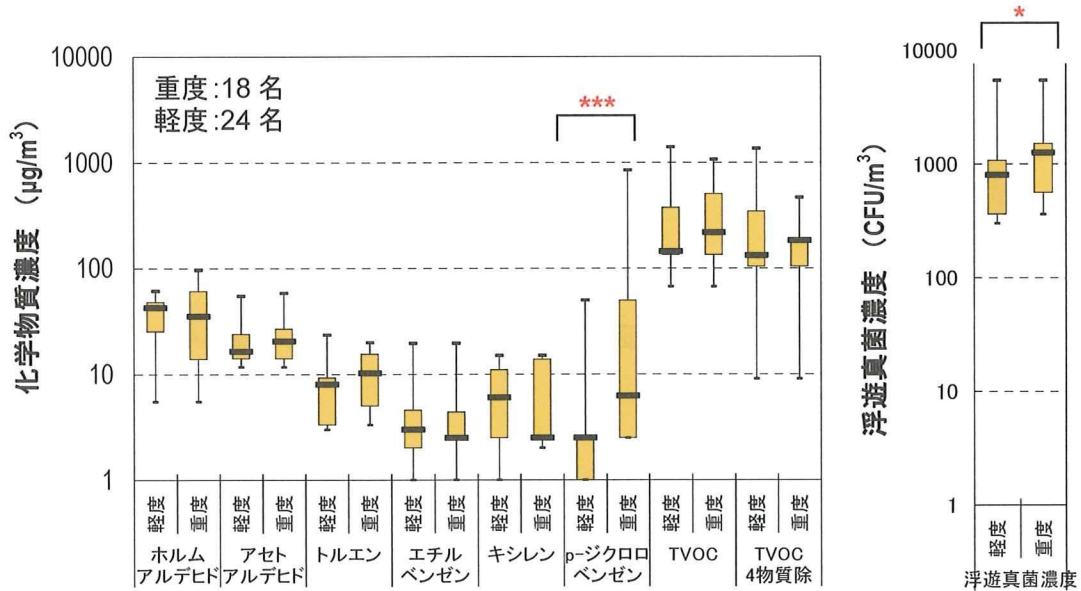


図11 症状合計程度による化学物質濃度、浮遊真菌濃度の比較

表9 ロジスティック回帰分析結果

( )気管・粘膜症状

説明変数	N	気管・粘膜症状 =重度(OR)	
トルエン	以下	1.00	
		25	0.71
p-ジクロロ ベンゼン	以下	1.00	
		18	12.14 **
TVOC	以下	1.00	
		20	8.27 *
		22	8.27 *
	以下	1.00	
		17	9.52 *
		25	9.52 *
R <sup>2</sup>		0.45	

\*p<0.05 \*\*p<0.01 \*\*\*p<0.001

( )症状 数

説明変数	N	症状合計 =中~重度(OR)	
ホルム アルデヒド	以下	1.00	
		21	2.06
p-ジクロロ ベンゼン	以下	1.00	
		24	40.59 **
TVOC	以下	1.00	
		20	6.18 *
		22	6.18 *
	以下	1.00	
		17	8.49 *
		25	8.49 *
R <sup>2</sup>		0.53	

\*p<0.05 \*\*p<0.01 \*\*\*p<0.001

表 10 住宅の概要

測定日	2009年7月14日	
所在地		
住宅形態	造 階建集合住宅	
延べ床	不明	
竣工年月日	不明	
換気方式	自然換気	
家族構成	4人:父親(51才)、母親(48才)、長女(11才)、次女(9才)	
内装仕上げ	測定点	
	居間	子供寝室
床 仕上げ	たたみ+カーペット	カーペット
壁 仕上げ	クロス	クロス
天井 仕上げ		

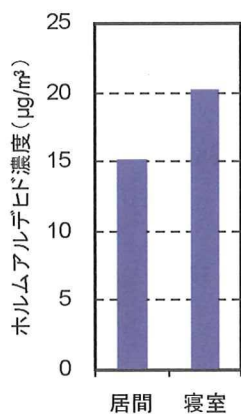


図 12 ホルムアルデヒド濃度

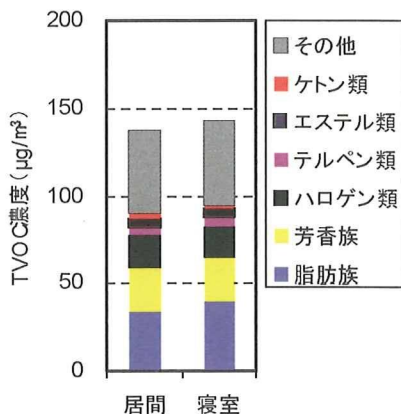


図 13 VOC 濃度

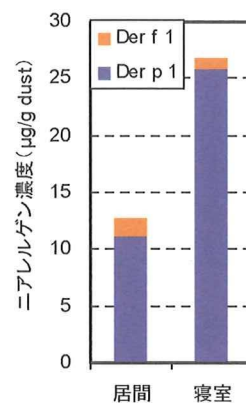


図 14 ダニアレルゲン濃度

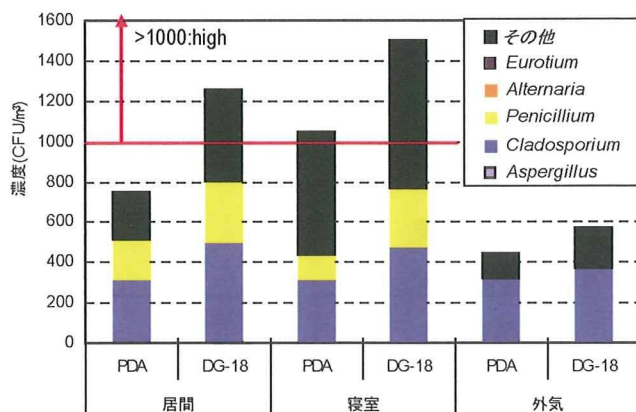


図 15 浮遊真菌濃度

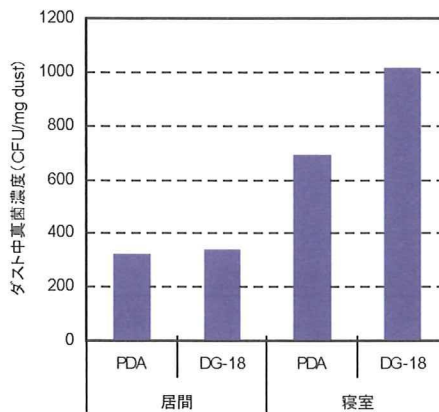


図 16 ダスト中真菌濃度

---

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

シックハウス症候群の診断基準の検証に関する研究  
平成 21 年度 総括・分担研究報告書

平成 22（2010）年3月発行

編 者 相澤 好治  
発 行 所 北里大学医学部衛生学公衆衛生学  
〒 252 - 0374 神奈川県相模原市南区北里 1 - 15 - 1  
E-mail : aizawa@kitasato-u.ac.jp  
印刷・製本 ケーエヌ印刷  
〒 173 - 0025 東京都板橋区熊野町 2 - 10 - 1002  
Tel : 03 - 3959 - 2253 Fax : 03 - 3959 - 3085

---

